

第 19 回 中国地域ニュービジネス大賞表彰制度

中国地域ニュービジネス特別賞を受賞

(社)中国地域ニュービジネス協議会が主催する中国地域ニュービジネス大賞表彰制度で、『貝殻魚礁「JF シェルナース」の設計・製作・開発』がニュービジネスとして高い評価を受け、海洋建設(株)代表取締役の片山敬一が「中国地域ニュービジネス特別賞」を受賞しました。この受賞を励みとし、今後も JF シェルナース並びに貝殻利用技術の開発・展開に一層努めてまいります。



授賞式での紹介

(広島市リーガロイヤルホテルにて H23. 5. 31)



表彰状

倉敷青果荷受組合 海洋建設など10社 中国ニュービジネス大賞

中国地域ニュービジネス協議会(会長・松坂敬太郎)は、独創的で市場性の高い新事業に取り組み企業を表彰する「第19回中国地域ニュービジネス大賞」の受賞10社を選んだ。岡山県からは、青果物卸の倉敷青果荷受組合(倉敷市西中新田)が大賞に次ぐ優秀賞、魚礁設計・施工の海洋建設(同市児島駅前)が特別賞を受賞した。

倉敷青果荷受組合は、卸売市場業界で初の食品安全マネジメン

トに関する国際規格の認証を取得するなど、品質を重視したカット野菜の製造・販売システムを構築。山陽自動車道早島インターに近い地理的条件を生かし、西日本全域の120社(1050店舗)に配送している。

海洋建設は、カキやホタテなどの貝殻を再利用した人工魚礁を開発。コンクリートや鉄製の競合品より魚の産卵効果などに優れ、全国漁業協同組合連合会(全漁連)のブランド商品に認定。2010年度までに全国で約9千基が導入されている。

広島県東部では、クリームパンの製造・販売に特化した経営で成功を収めた八天堂(三原市港町)が優秀賞を受賞した。(正本和臣)

山 陽 新 聞

2011年(平成23年)6月3日 金曜日

関連した新聞記事

第19回 中国地域ニュービジネス大賞等受賞者一覧

【敬称略】

中国地域ニュービジネス大賞

中国経済産業局長賞
社団法人 中国地域ニュービジネス協議会会長賞

株式会社 キグチテクニクス (島根県安来市)…………… 代表取締役 きぐち しげき 木口 重樹
航空機産業等に対応できる金属部品、材料の評価ビジネスの展開

中国地域ニュービジネス優秀賞

社団法人 中国地域ニュービジネス協議会会長賞

倉敷青果荷受組合 (岡山県倉敷市)…………… 理事長 とみもと しょうさく 富本 尚作
「品質」をキーワードにしたカット野菜の製造・販売システムの構築

株式会社 コーポレーションパールスター (広島県東広島市)… 代表取締役社長 しんたく えつお 新宅 悦雄
産学官連携で開発した靴下による転倒防止対策

株式会社 八天堂 (広島県三原市)…………… 代表取締役 もりみつ たかまさ 森光 孝雅
100種類におよぶパンの製造・販売からクリームパンの製造・販売へ特化

中国地域ニュービジネス特別賞

社団法人 中国地域ニュービジネス協議会会長賞

海洋建設 株式会社 (岡山県倉敷市)…………… 代表取締役 かたやま けいいち 片山 敬一
貝殻魚礁「JFシェルナース」の設計・製作・販売

株式会社 木原製作所 (山口県山口市)…………… 代表取締役社長 きはら やすひろ 木原 康博
省エネ型食品乾燥機の開発・製造・販売及び6次産業化の支援

株式会社 サンエー (広島県三次市)…………… 代表取締役社長 ごあみたくま 五阿弥琢磨
ディーゼル・エンジン用超小型・低コスト尿素センサーの開発・製造・販売

株式会社 ストロベリーメディアアーツ (山口県下関市)… 代表取締役CEO まつい まさひこ 松井 雅彦
軽量、高精細LEDビジョンの企画・製造・販売

智頭石油 株式会社 (鳥取県八頭郡)…………… 代表取締役社長 よねい てつろう 米井 哲郎
中古車を利用した安価なレンタカー事業及び官民カーシェアリング

株式会社 ヘイセイ (鳥取県東伯郡)…………… 代表取締役社長 たねこ しんじ 種子 晋司
ガス営業用のコミュニケーションツール(あご入り鰹ぶりだし)の開発

中国地域ニュービジネス特別賞

表彰事業

貝殻魚礁「JFシェルナース」の設計・製作・販売

海洋建設 株式会社

代表取締役 かたやま けいいち
片山 敬一



受賞理由

JFシェルナースは、人工魚礁に用いる生物増殖基質に水産系副産物であるカキ、ホタテ、アコヤなどの貝殻を再利用している点に特徴がある。貝殻は自然素材で形状が複雑なことから、餌生物（エビ・カニ・ゴカイ類）の培養効果、幼稚魚の隠れ場効果や産卵効果が高く、競合するコンクリートや鉄のみを使用した製品に対し優位性を持っている。全国漁業協同組合連合会が「JFブランド商品」として認定し、JFグループが販売代理店として販売活動を行っている。22年度までに28道府県で9,000基が事業採用。近年の環境保全、リサイクル、生物多様性の保全に対する行政、住民意識の高まりも追い風となっている。生物増殖基質であるシェルナース基質（貝殻基質）は、漁業者が中心となって製作しており、漁業閑散期の副収入源ともなっている。平成19年、同社が発起人となって「貝殻利用研究会」を設立し事務局はJF全漁連が担当。その他、業界初のエコマークやバイオマスマーク、各県の環境ラベルなどを取得し、採用されやすい状況整備を行っている。

（ポイント）・同社は貝殻を使用した人工魚礁のパイオニア、特許15件。魚礁市場にはゼネコン、鉄鋼会社など100社以上が参入。

- ・貝殻は自然素材で形状が複雑なことから、餌生物（エビ・カニ・ゴカイ類）の培養効果が高く、幼稚魚の隠れ場効果や産卵効果などがある。
- ・全国漁業協同組合連合会が「JFブランド商品」として認定し、JFグループが販売代理店として販売活動を行っている。
- ・平成19年、同社が発起人となって「貝殻利用研究会」を設立。事務局はJF全漁連。
- ・今後は国土交通省（港湾）や環境省などの自然共生型事業への参入も狙っている。

事業概要

社長は漁業、潜水士を経て昭和58年に海洋建設(株)を設立。61年から貝殻を利用した魚礁開発に着手。平成4年のマダコ増殖礁の開発成功をはじめ6年には貝殻魚礁「シェルナース」を開発、15年に全国漁業協同組合連合会と連携し、JFブランド商品「JFシェルナース」の製作・販売を開始。20年には農商工連携88選に選定、また海洋環境改善・修復のための製品開発を始めた。学会発表等も積極的に行っている。今後は水産基盤整備事業だけでなく、自然共生型事業（生物多様性、地球温暖化防止）へも参入する。

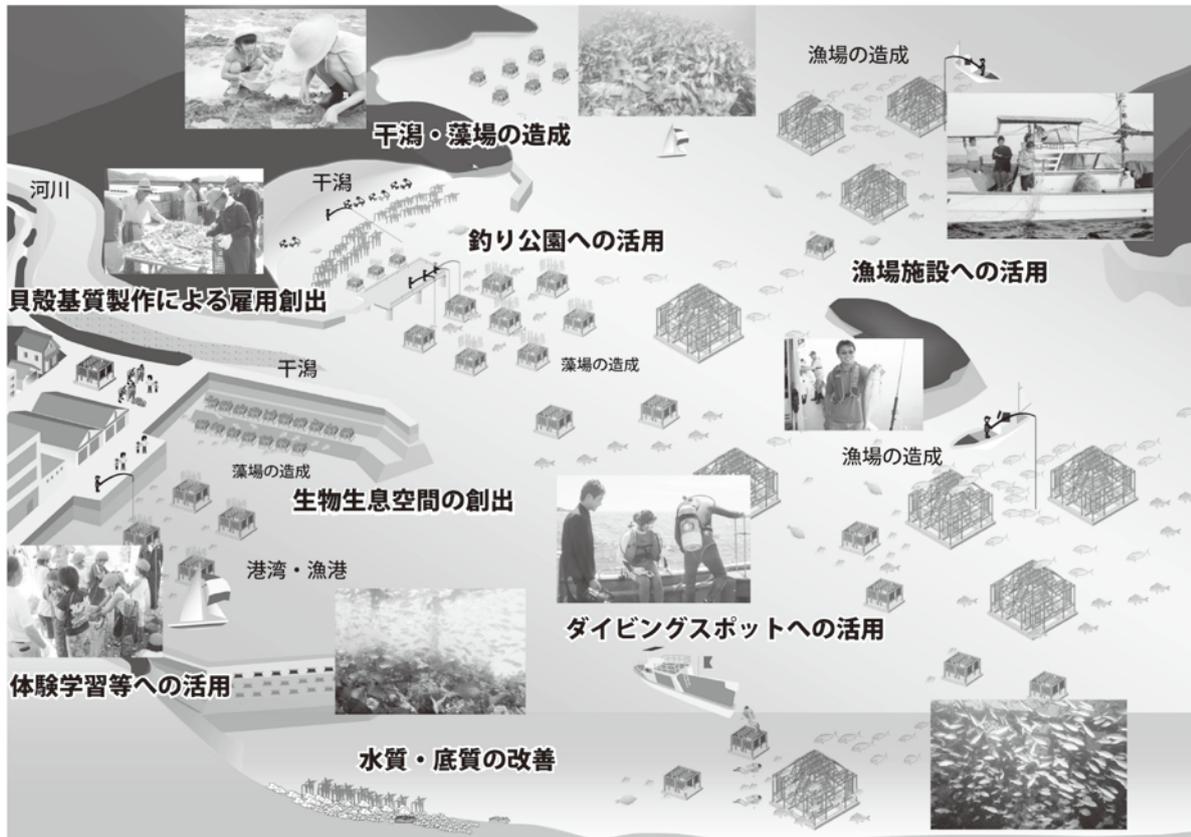
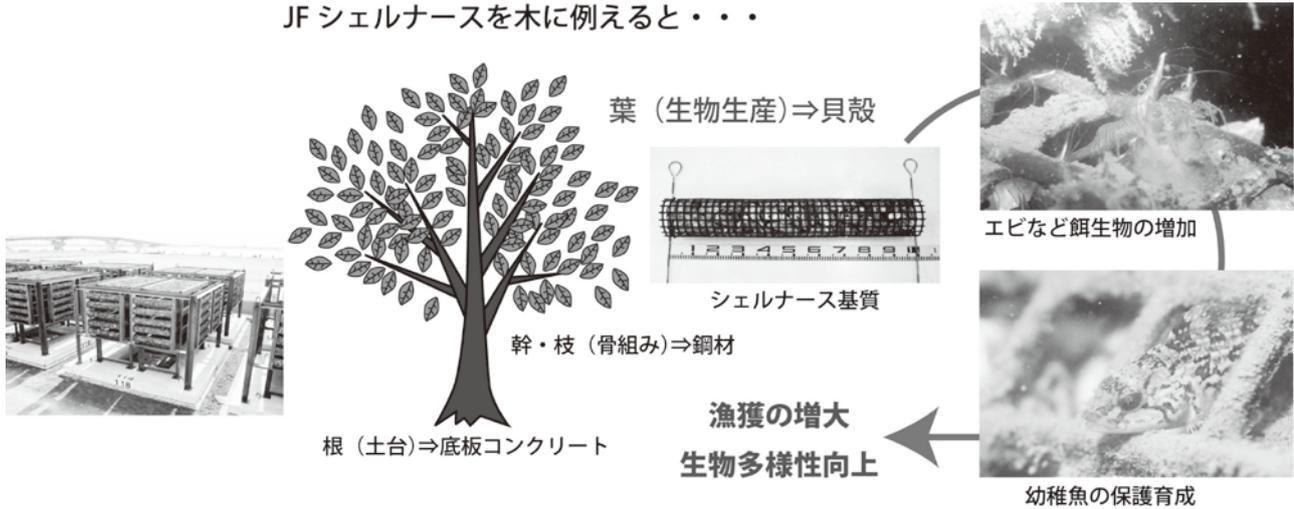
会社所在地	〒711-0921 岡山県倉敷市児島駅前1-75		
T E L	086-473-5508	U R L	http://www.kaiyoh.co.jp/
会社設立	昭和58年2月	従業員数	24名(平成23年4月1日現在)
資本金	10百万円	売上高	987百万円(平成22年6月期)

漁業者と共に豊かな海づくりに役立つ貝殻魚礁

『JFシェルナース』

JFシェルナースは、貝殻を有効活用した人工魚礁で、魚介類に対する餌料生産効果や幼稚魚の隠れ場、産卵場効果に優れています。また、貝殻を活用することでその処理費用を軽減することや、漁業者が製作に携わることで漁業閑散期における雇用創出、豊かな海づくりに対する意識の啓蒙にも貢献します。

JF シェルナースを木に例えると・・・



JF シェルナースを活用した豊かな海づくり